



# はんた 市議会だより



- 一般質問、7人が市政を問う！ P.2~4
- 令和4年第6回定例会審議結果 P.5~7
- 令和4年第7回臨時会審議結果 P.8
- 各委員会の年間調査テーマ P.9
- 市議会キッズページについて P.10
- お知らせ 議会報告会の開催について

# 市政を問う

## 一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月14日、15日に行われ、7人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は8月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。

また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



志民ネット  
中村和也

### 外国にルーツをもつ子ども達の教育促進

**問** 外国にルーツをもつ児童生徒の就学状況は、どのようになっていますか。

**答** 一定数は、外国人学校に在籍していると思いますが、どの学校にも在籍していない児童生徒がいる可能性もあります。

**問** 外国籍の児童生徒の教育の機会を守るためにも日本人同様に在籍状況を追跡・把握できませんか。

**答** 義務教育の対象ではなく、簡単なことではありません。しかし、状況把握は必要な事であることから、関係部署とも連携し、進めていきたいと考えています。

**問** 日本語初期指導教室と日本語適応教室を設けて、さらに拠点校を設置するべきと考えますが、いかがですか。

**答** 日本語初期指導教室と日本語適応教室を設けることは、効果的・効率的と考えます。しかしながら、拠点校を設けることは保護者の送迎が必要となり、送迎できないケースが発生する課題が心配です。

ることは保護者の送迎が必要となり、送迎できないケースが発生する課題が心配です。

**問** 今更で、外国人労働者を雇用している企業や経済界への相談・協賛はされましたか。

**答** 今更で相談などはしていません。今更は、子どもに限らず多文化共生社会の実現のために企業側や各種団体とも連携していきたいと考えています。

**問** 日本語の理解が不十分な児童生徒が、早く教科の授業を受けられるようになるために、専門の外部人材を充実させるべきと考えますが、いかがですか。

**答** 今更も多くの外部人材を活用していくことで支援を充実させ、日本語指導が必要な児童生徒がより安心できる学校生活に繋げていきたいと考えています。

**問** 外国籍の子ども達も日本人同様に幸せになる権利があり、さらに一歩踏み出した支援が必要ではないですか。

**答** 課題は認識していません。日本人のみならず外国籍の子ども達も大切な未来への懸け橋です。真剣に取り組んでいきます。



自民クラブ  
加藤美幸

### 使用済み紙おむつ回収・処分へ

**問** 衛生面での安心安全と保育士・保護者の負担軽減のため、保育園等での使用済み紙おむつの処分方法を改善することへの見解を伺います。

**答** ICTの活用により保護者と保育士との情報共有などが円滑に行えるようになり、保護者の子育てへの積極的な関わりを促すことが期待できます。このことにより、園での紙おむつ処分の実施が可能と考えます。

**問** 具体的な内容や対象は、どのような内容ですか。

**答** 公立園を対象とし、業者による回収を週2回行うとして、導入コストが約230万円、処分費用が年間約220万円と試算しています。今年度中に実施時期を決めます。私立園については、委託費から各園の裁量により行います。

### 若い世代がまちづくりに参画するために

**問** 子育て世代の声を反映させるための取組みは、どのようなですか。

**答** 「子育て支援事業検討プロジェクト会議」を立ち上げ、未来を見据え真に必要な支援策を検討します。委員は公募で1名の他、子育て中の市民委員4名を関係機関から推薦していただく予定です。

**問** 若い世代の声を取り込むための広聴や市政への参画についての見解を伺います。

**答** ①幅広い世代からの意見が迅速に聴き、分析が可能なEメールでのアンケートやモニターの研究を進めています。②各種審議会委員に子育て世代や大学生に参画いただき、施策に反映していきます。

③新たな広聴手法として、市民が話し合い意見を集約し市政に活かす「市民討議会」の実施に向けた仕組み作りを公益社団法人半田青年会議所との協働で取組んでいます。今更も、広聴手法の充実に努め、若い世代はもとより、幅広い世代の市民の市政参画につなげていきます。



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)



チャレンジはんだ 伊藤正興

指定ごみ袋の不安定な供給

問 指定ごみ袋が品薄状態になった時期と原因を教えてください。

答 たのは、令和4年3月17日からです。新型コロナウイルス感染症や人員不足の影響を大きく受け工場の生産能力が低下し取扱店への提供が減少したためです。

問 指定ごみ袋の安定供給の時期をいつ頃と想定していますか。

答 8月と想定しています。

問 指定ごみ袋が行き渡るまでの間、透明袋等の代替品の活用を検討しないでしょうか。

答 代替品については、現在の納品状況や今後の納品見込みを参考にし、常に導入を視野にいれながら検討しています。しかし、ごみ出しルールを現在も守っていただけない方が一部みえ、各自自治区が苦労しているなかごみ袋の混在など、ごみステーション利用に混乱を生じさせないこと、また、

現時点では昨年度の月平均販売数以上の納品が見込めることから、これまで通りの対応をお願いしてきました。

問 本年度予定されているごみ減量協力への還元策である指定資源回収袋の配布は計画通り進めていきますか。

答 還元策は、令和4年度の目標一人一日当たり46グラムを達成した場合に資源回収袋を配布するものです。来年度には資源袋を必要数確保出来る見込みなので、計画通り実施していきます。

問 今後指定ごみ袋の安定供給のために、しっかりとした対策等が必要と考えますが見解を伺います。また、現時点での具体的な対策を教えてください。

答 業者との契約で一定量を確実に納品させる方式の採用も検討するとともに、在庫数を2か月以上確保するなど、他市の状況も参考にしながら最善の方法を導入します。また、現時点の対策は納入した店舗情報をホームページで公開、資源袋を海外工場に発注することにより、現工場では、可燃ごみ袋のみを集中的に生産させています。



公明党 坂井美穂

女性が就労しやすい環境づくり

問 本市において、働く意欲があるのに職がなく、求職活動をしている女性の人数を伺います。

答 総務省統計局が実施している「労働力調査」の完全失業者数から推計すると、本市での女性の完全失業者数は、令和元年が48人、令和2年、令和3年は共に70人となります。

問 デジタル分野での女性の就労について、どのように捉えていますか。

答 フルタイムで働くことが難しい女性にとつて、働きやすい分野の一つであると捉えています。希望する就労が実現するまでの間、テレワークによる柔軟な働き方をしながらデジタルスキルを身に付けることで、就労のステップアップとしての役割を担うことも期待できる分野です。

問 本市においても、「デジタルスキル習得支援」と「デジタル分野での就労支援」のノウハウを持つ先進自治体や企業と連携し、デジタル分野で女性が就労できる環境づくりをスタートするべきと考えますが、見解を伺います。

答 デジタル分野に関するノウハウを持つ先進自治体や企業連携の事例などを参考に調査・研究を進めていきます。

問 帯状疱疹ワクチンの周知と接種費用の助成について伺います。

答 現在、積極的な周知は行っていませんが、最近ワクチンのCMの影響で、市民から問い合わせが寄せられることから、ワクチンの効果、接種方法、接種間隔、副作用などの情報をホームページに掲載します。

問 帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成すべきと考えますが、見解を伺います。

答 本市では従来から定期接種に位置付けられたものを確実に実施していく方針であり、任意接種に対して助成を行う考えはありません。



公明党 山田清一

原油価格・物価高騰の影響による支援策

問 地方公共団体が、コロナ禍において物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を地域の実情に応じ、きめ細かに実施できるよう新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が拡充されています。半田市に配分される見込額について伺います。

答 令和4年度の地方創生臨時交付金については、現時点での半田市への交付見込額は、3億587万1千円です。

問 生活に困窮する方々の生活支援や、学校給食費等の負担軽減など子育て世帯の支援、また、運輸・交通分野をはじめとする中小企業等の支援を後押しするなどの支援策と実施時期について伺います。

答 愛知県が実施する支援事業などを考慮する中、何が必要なのか慎重に考え、より効果的な事業を検討し8月臨時議会、又は9月議会などに提案していきます。

ヤングケアラーへの支援の推進

問 ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことをいいます。半田市の現在の取組みについて伺います。

答 「半田市要保護児童対策地域協議会」で、支援が必要な児童としてヤングケアラーについても把握と対応に努めます。

問 「子ども家庭庁」では、ヤングケアラーの支援策を柱の一つとする方針ですが、今後、半田市としてどのように取組んでいきますか。

答 本年4月に子どもや家庭の相談を丸ごと受け止める「子育て相談課」を新設しました。ヤングケアラーは、家庭の課題を適切に把握して、多機関で支援を検討し解決につなげていく必要があります。今年度は、要保護児童対策地域協議会が実施する教職員向け研修会など、ヤングケアラーについて学び、さらなる理解促進と意識向上を図り多機関・多職種連携強化に努めます。



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 岩田 玲子

働く保護者や保育士を応援できる保育園

問 現在、低年齢児の保護者が保育園に到着後に行う、子どもを預かってもらうまでの準備の作業は多岐にわたります。朝忙しい通勤前の保護者にとっては大変な負担となっていると考えますが、そのような声は届いていますか。

答 特に低年齢児の子どもを持つ保護者の方は、衣類の補充やおむつのセットなど、子どもを預けるまでの準備が多岐にわたります。ご負担をおかけしていることは承知しています。

問 現在、私立保育園や、都心部の公立保育園ではすでに導入が進んでいるおむつの持参、仕分けが不要になるおむつのサブスクリプションを半田市でも導入することは、保護者と保育士の負担軽減と、感染症対策になると考えます。半田市の見解を伺います。

答 おむつのサブスクリプションを保護者が利用した場合、家庭でおむつに名前を書く必要がなくなり、登園準備のための時間短縮、荷物の軽減につながります。また、保育士にとっては、おむつの枚数を管理する必要がなくなるため、より保育に専念でき、おむつの持参による接触ルートへの低減にもつながるため、感染症リスクを減らすことが期待されます。双方にとってメリットがあることから、導入を検討していきます。

問 今後、使用済みおむつの持ち帰りを廃止し、半田市で回収を行うことは、保護者、保育士の負担軽減と、働く保護者と保育士を応援できる取り組みと考えます。半田市の見解を伺います。

答 保護者の負担軽減につながるだけでなく、保育士にとっても使用済みおむつを仕分けする必要がないなど、業務負担の軽減といった一定のメリットがあるため、園での紙おむつ処分は実施できるとの考えに至っています。



無所属 鈴木 健一

教員の働き方を問う

問 教員の配置は現状どうなっていますか。

答 追加配置定数分において、3名が未配置となっています。

問 教員の在校時間の把握はどのように管理していますか。

答 文部科学省による告示通り、クラウド型勤怠管理システムを使用して管理しています。

問 教員の休憩時間の実態はどのようですか。

答 一日45分の休憩を2回に分けて取得しています。

問 タブレットを活用した教員の現状について把握していますか。

答 ICT支援員の配置や、ヘルプデスクの活用、研修などにより活用が進んでいます。

半田市保育園等公民連携更新計画について問う

問 来年度開園予定と花園保育園の進捗はどうなっていますか。

答 鉄骨等、建築コストの上昇により、建築業者を決定できていない状況にあります。

問 花園保育園の民営化の現状について、保護者や地域住民への説明会は開催しますか。

答 施工業者が決まり、今後の方向性が定まった後、開催予定です。

問 どのような根拠に基づき、中学校区単位の計画にしたのですか。

答 地理的条件、人口、交通事業など総合的に勘案して決定しました。

問 民間による花園保育園の開園について、民間任せで対処できると考えていますか。

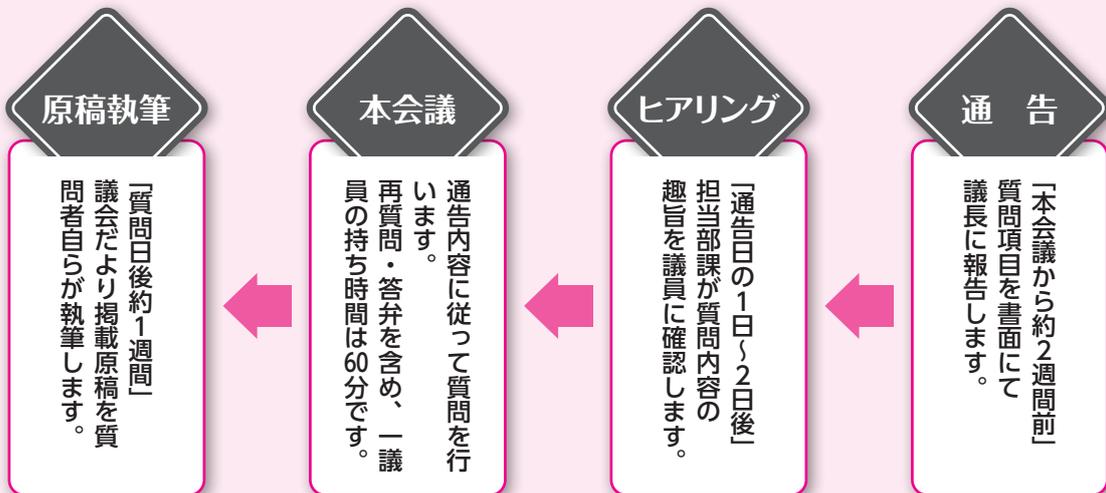
答 今回、プロポーザルで決定した業者は実績、規模、資産状況も良好であるので、充分に対応できると考えています。

問 子ども達を、安心・安全な環境の中で育てる責務は自治体にあると考えます。このことについてどのような配慮を行い、また検討しましたか。

答 民間事業者に保育を移管した後も、県と自治体の責務を果たしていきます。



一般質問（原稿執筆までの流れ）



市政を問う 一般質問（質問議員が執筆しています）

# 審 議 結 果 令和4年第6回定例会(6月14日～6月24日)

## ■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ( )内は議案の補足説明です。
議案 49	令和4年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号 (国民健康保険法施行規則の一部改正により、多様な性的指向や性自認に配慮する観点から、各種受給者証等の性別欄削除に係るシステムの改修を行うもの)
議案 50	令和4年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号 (半田病院整備のために31万4千円のご寄付を頂いたことに伴うもの)
議案 51	半田市議会議員及び半田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について (公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動に要する経費の一部が公費負担される選挙公営の単価が改正されたことに伴う関係条例の一部改正)
議案 53	半田市手数料条例の一部改正について (「マンション管理計画認定制度」が創設されたことに伴う認定事務の手数料を徴収するためのもの)
議案 54	和解及び損害賠償の額の決定について (市道青山60号線で発生した、原動機付自転車転倒事故における和解及び損害賠償の額の決定)
議案 55	市道路線の認定について (路線名「横山3号線」を、新半田病院建設にあわせ、新たに路線認定するもの)
議案 56	半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (高木香代氏を選任するもの)
意見書案1	「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書の提出について
議員提出2	半田市議会議事規則の一部改正について (政策調査研究プロジェクトを廃止することに伴い会議規則の一部を改正するもの)
議員提出3	特別委員会の設置について (ふるさと納税調査特別委員会と新エネルギー活用調査特別委員会を設置)

## ■その他の案件

議案 番号等	議案名 ( )内は議案の補足説明です。
報告3	専決処分の報告について(道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告4	半田市土地開発公社の経営状況について
報告5	令和3年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて
報告6	令和3年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告7	令和3年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計継続費の繰越しについて
報告8	令和3年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告9	令和3年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告10	令和3年度半田市立半田病院事業会計継続費の繰越しについて
報告11	令和3年度半田市水道事業会計予算の繰越しについて
報告12	令和3年度半田市下水道事業会計継続費の繰越しについて
報告13	令和3年度半田市下水道事業会計予算の繰越しについて



# 審議結果 令和4年第7回臨時会(8月9日)

## ■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ( )内は議案の補足説明です。
議案57	令和4年度半田市一般会計補正予算第4号 ( <b>総務</b> :ふるさと納税返礼品に係るウェブサイトの魅力向上支援及びSNS広告を利用し地場産品PR支援を行うもの <b>文教</b> :保育園の使用済み紙おむつ回収、保育園、幼稚園等における保育業務支援システム導入及びトイレや手洗いのタッチレスの蛇口への取替工事の実施、物価高騰に伴い保育園、幼稚園、小中学校の給食材料費等の補助を行い給食の質を維持するもの <b>建設</b> :物価高騰支援策として水道料金の基本料金を4か月間減免するもの、公共交通事業者(路線バス・タクシー)に対する燃料費支援をするものなど)
議案58	令和4年度半田市水道事業会計補正予算第1号 (水道料金の基本料金を減免して請求するためのシステム改修を委託するものなど)
議案59	半田市防災広場整備事業に係る土地売買契約の締結について (横山町189番はじめ6筆の土地売買契約を締結するもの)
議案60	半田市防災広場整備事業に係る土地売買契約の締結について (横山町237番1はじめ3筆の土地売買契約を締結するもの)



## 賛成討論

議案57・58号に賛成

鈴木健一議員

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を主な財源に、水道料金の基本料の無償化、給食費の増額の援助を行う事は評価できません。物産品取扱事業者への販路拡大事業については、対象にならない事業者が多くいることを指摘すると共に、今回の補正予算で支援を受けられなかった市民への支援策を求めていきます。

## 議会用語解説について

議会ではさまざまな用語が使われています。市議会ホームページでは本会議や委員会をよく使われる議会運営の用語を中心にわかりやすく解説しています。不明な議会用語がありましたらご活用ください。



市議会  
用語解説へ

### 〈参考〉

#### 議案

議会の議決を必要とする案件のこと。市長からも議会からも提出できる。

#### 議決

本会議に提出された議案の表決の結果、得られた議会の意思決定のこと。

#### 討論

採決の前に、議員が案件に対して、賛成または反対の自己の意見を表明すること。他の議員に賛同をもらう目的で行う。

# 令和4年度 各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

## 議会運営委員会

「ICT化に伴う情報の管理について」

議員が議員活動や議会活動において取得した個人情報等の取扱いについては、現在個人の判断に任ざれている状況です。また、議員活動において取得した行政情報の取扱いについては、速やかに市民にも知らせるべき情報と行政内部にとどめるべき情報を、どのように区別していくのかがルールを作る必要があります。更に、この先のICT化の推進に伴う個人情報等の情報セキュリティについては、一人一台のタブレット端末を配備することでも、どこでも情報を入力することができ、情報発信も出来るようになり、議会のICT化を進める中で、どのように議員の情報モラルを確立していくか調査研究していきます。

## 総務委員会

「自治体DXの推進について」

自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して仕事の進め方を効率化・高度化することにより、市民生活の質と利便性の向上を図るものです。

複雑・多様化する住民ニーズに対応した行政サービスを提供し続けるには、行政のデジタル化は急務であり、半田市では、「半田市DX推進計画」が令和4年3月に策定されたところです。

今後、DXを推進し、「いつでも・どこでも・誰でも便利なデジタルシティ」を目指し実現することによって、市民サービスの向上と行政事務等の効率化が図られます。市民の皆さんがスマートフォンなどにより、24時間365日どこにいても手軽に利用できる「行政手続きのオンライン化」を中心に調査研究していきます。

## 文教厚生委員会

「今後の部活動のあり方について」

国は令和2年度に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」についてガイドラインを示しました。これまでの部活動は、教員の休日の指導や時間外労働の献身的な勤務の下で成り立ってきましたが、長時間勤務の要因となっています。

国の方針は来年度以降、部活動を段階的に地域へ移行していくこととし、具体的なスケジュールを示し教員の働き方の改善を図るとしています。

半田市内には現在5つの総合型地域スポーツクラブがあり、子どもたちの地域の受け皿として期待されています。しかし、中学校の部活動が地域へ移管された場合、運営を担う人材や指導者の確保、部活動中事故の責任はどうするか、また、土日等に行われる地区大会等の出場他課題は山積です。

教員の働き方の改善が求められる時を向かえ、吹奏楽などの文化部活動も含め、持続可能な部活動のあり方を調査研究していきます。

## 建設産業委員会

「墓地のあり方について」

近年、核家族化や、少子化、単身世帯率が増加する中、ライフスタイルの変化なども起因して、お墓のあり方や、お墓の跡継ぎがない等維持管理の課題があります。併せて、樹木葬や合葬墓といった新しい形態のお墓の需要が増えていくこともあり、半田市でもそれらのニーズに答え、対応していく事が喫緊の課題です。

また、今後無縁墓地を増やさない取組みをどうしていくべきなのか等の課題もあります。そのためにも、権利者の確定や、墓地運営を半田市は今後どのように行っていくのかを具体的にしていく必要があります。

そこで、建設産業委員会では、先進的な取組みを行う自治体の状況を踏まえ、半田市に合う、墓地のあり方を調査研究していきます。

## しょうがくせい 小学生のみなさんへ

はんだしぎかい  
半田市議会のホームページでは「キッズページ」を作成し、  
しぎかい しごと しょうかい がくしゅう さんこう  
市議会の仕組みや仕事について紹介しています。学習の参考に  
してください。



市議会  
キッズページへ



### しぎかい 「市議会」ってなに？

みんなの住んでいる半田市を住みやすい市にするためには、みんなでどうしたらよいか考えていかなければなりません。

でも、半田市民は約12万人もいるので、市民みんなが集まることはできません。

そこで私たちは半田市民約12万人の中から22人の代表者を選んで、その22人の代表者が半田市のルールやお金の使い方を決めます。

みなさんは、みなさんの願いをかなえてくれそうな半田市の代表を選ぶことで、住みやすい半田市を作っているのです。

この選ばれた代表のことを「市議会議員」、市議会議員のあつまりを「市議会」といいます。

### はんだしぎかい 「半田市議会」はいつどこで、半田市のルールやお金の使い方を決めているの？

半田市では、毎年4回(3月、6月、9月、12月)、半田市役所5階にある「議場」という部屋で会議が行われます。

3月、6月、9月、12月以外にも、すぐに決めなければならないことがあれば、それを決めるため臨時の会議が行われます。この会議は、誰でも見学することができます。持ち物など特に必要はありません。ぜひ一度見に来てください。

### ぎじょう ようす 議場の様子



● ~市民と議会のつどい~ 第31回 議会報告会を開催します! ●

9月定例会の審議内容・結果の報告、そして皆さまとの意見交換の機会として『議会報告会』を開催します。

事前申し込み、参加費は必要ありません。お気軽にご参加ください。

開催日 令和4年10月25日(火)

19時~20時30分(開場18時30分)

会場 アイプラザ半田 2階小ホール(蔵のまち東駐車場をご利用ください)

今後の本会議の開催予定

9月定例会の予定

8月30日(火)から9月28日(水)

〈インターネット中継が始まります!〉

9月定例会より本会議の様子がライブ中継で視聴できるようになります。

議場にお越しいただけなくても、インターネット環境があればパソコン、スマートフォン等から議会中継を視聴できます。

本会議を是非ご覧ください。

右のQRコードからアクセスいただくか、YouTubeサイトにおいて「半田市議会」と検索してください。



市議会YouTubeサイト

あとがき

半田市議会では、YouTubeのライブ配信(生放送)、録画放送、ケーブルテレビCACC、ホームページなど様々な方法で定例会の様子を配信しています。議場で議論される定例会の他に、議会全般の運営に関して決める議会運営委員会、全員協議会、常任委員会、特別委員会などの会議体で半田市政について議論を重ねています。最近の話題としては、教育、福祉、コロナ禍における経済、また、渋滞対策などインフラ整備、環境問題など様々な議論をしています。今後も議会を身近に感じていただけるよう情報配信にも工夫をしていきます。

広報委員会

委員長 加藤美幸

副委員長 中村和也

委員 伊藤正興 / 芳金秀展

山田清一 / 澤田勝

編集・発行 半田市議会

〒475-0866

半田市東洋町2-1

TEL 0569-84-0694

FAX 0569-24-7185

E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ